

19万人のひろば

ニンジンドレッシングで八千代の特産をPR

調味料製造会社の提案で、市がJA八千代市や農家と協力して開発した「やちよキャロットドレッシング」の販売が始まりました。ドレッシングには市内産の春夏ニンジン「彩着」を使用。市の農産物をPRし、地産地消の推進を図ることが目的です。タマネギやニンニク、おろしショウガも入り、スタミナ満点。1本380円で、JA八千代市グリーンハウスゆりのき店・勝田台店で販売中です。



“芝生バーベキュー” 営業開始。片付け不要です

利用1か月前から予約受け付け

農業交流センターの「ふれあい広場」では、7月13日からバーベキューの営業を開始しました。食材は持ち込み制ですが、コンロや網、テーブルなどの必要な器材は施設で貸し出し。使用後の片付けや洗浄、持ち帰りが面倒なゴミの回収も施設が行うため、気軽に利用できます。芝生なので、小さな子ども連れでも安心。「遠出しなくても気軽にバーベキューを楽しめるのは魅力ですね」と利用者。夏の思い出づくりに、家族や仲間と一緒にいかがですか。利用方法などは、同センター☎406-4778へお問い合わせください。



▲料金は1セット6人分で3,000円。8月いっぱい平日も利用できます

9月1日(日)まで郷土博物館で「昆虫展 in 八千代」を開催中



世界一美しい羽を持つと言われるモルフォチョウなど、県立中央博物館所蔵の世界の貴重な昆虫も多数展示

郷土博物館では、「昆虫展 in 八千代—世界の昆虫がやってきた—」を9月1日(日)まで開催しています(月曜休館)。同館が所蔵する八千代の昆虫をはじめ、世界一の大きさ・強さ・美しさを誇る外国の昆虫など約3,700点を展示。かつて八千代に生息していた昆虫や、都市化に伴って近年新たに登場した昆虫を通して、自然環境の変化を学ぶことができます。同館☎484-9011。

新鮮でおいしい梨は直売所で

梨の収穫シーズン到来

県内7位の収穫量を誇り、安全、安心で美味しいと評判の八千代の梨。今年も本格的な収穫シーズンが始まりました。梨の花が早く咲き、梅雨明けも早まったため、収穫も例年に比べて10日ほど早くなりました。気候条件に恵まれ、甘みが強くみずみずしい梨です。



▲梨の収穫は、ハサミで切らずに手でとります

八千代で収穫される代表的な梨は、幸水、豊水、新高の3品種。他にも品種改良により登場した新しい品種の梨が多数あります。市内で生産される梨の約8割は、梨農家の直売所で販売されています。直売所に並ぶ梨は、完熟してから収穫したこだわりの梨。「今年の梨は特に糖度が高い。皆さんにもぜひ直売所に足を運んで、新鮮な梨を味わってほしい」と市梨業組合組合長の江口政則さん(ホームページ)市HPでは「農産物直売所一覧」「やちよ良いところマップ・農産物販売施設等紹介マップ」を紹介しています。お気に入りの梨を探しに、直売所に行ってみませんか。



リサイクル・ガイド 消費生活センター ☎485-0559

●この欄については、消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで(午後4時～5時は☎483-1151へ)。
【あげます】▶電子エレキトーン(2段式)▶シルバニアファミリー・森のパン屋さん▶ナショナル製生ゴミ処理機▶成人式用ショール(白)▶東芝製食器乾燥機VD-V6S/2006年製▶素焼きの植木鉢3鉢(茶色・新品)／直径37cm×深さ30cm、22cm、20cm▶クスノキの和ダンス(三段重ね)／高さ170cm×横135cm×幅45cm▶保健衛生品(女性

用オムツなど・新品)▶そろばん2丁(うち1丁はケース付き)▶ブリヂストン製買物用三輪自転車(20kgまで積載可)▶折りたたみ式座卓(脚付き)／縦75cm×横120cm▶幼児用折りたたみ式椅子(テーブル付き)▶東芝製シーリング(照明器具)／6～8畳用▶三菱製セラミックファンヒーター(13年前の品・中古)▶視力回復器【ゆずって/有料】▶男児用自転車/21～22インチ▶新体操用リボン・レオタード一式(子ども用)【ゆずります/有料】▶折りたたみ式座卓(木製ウレタン仕上げ)／73cm×100cm▶スポーツタイプ自転車/27インチ・6段変速▶男児用フォーマルシューズ(120cm)と靴(19cm)▶ベビーベッド

「やちよの梨 味自慢コンテスト」を8月31日(土)に開催します

やちよの梨の代表的な銘柄である、豊水の味自慢コンテストを行います。会場では入賞品の展示のほか、梨に関するクイズを行い、正解者には景品をプレゼント。梨の試食と販売も行います。

▶日時 8月31日(土) 審査/午前10時～10時45分、試食・販売/午前10時から(なくなり次第終了)、クイズ/午前10時～(景品がなくなり次第終了)、展示/午前10時～正午▶場所 イオンモール八千代緑が丘2階アゼリア広場▶問い合わせ 八千代市園芸協会事務局(八千代市農業協同組合内)☎459-8125 (農政課)

八千代歌壇

八千代市短歌会選

広報雑記帳から 7月13日から農業交流センターで営業を開始したバーベキュー。撮影で協力して頂いたグループの1つは、複数の家族連れでした。話を伺うと市主催の1歳児親子学級の講座で知り合った親子同士のこと。初めてのうちは、子どもたちもバーベキューを楽しんでいましたが、ひとしきり食べると、関心はふれあい広場の芝生にあるスプリングラーの方へ。暑さの中、水しぶきを浴びながら走り回る子どもたちは、とても気持ちよさそうでした。新川サイクリングロードの途中にある同センター。バーベキューでお腹を満たした後に、新川沿いをサイクリング。そんな過ごし方も楽しそうです。

軽がろと口の端にのぼる「絆」なり寄りかつ消える浮雲速し(村)上 新井 豊子
 進るホースの水にまだ小さき蜥蜴が逃げる影もろともに(八千代台西) 山田あるひ
 熟れし梅土鍋に並べ甘く煮る宵は音なき黄梅の雨(八千代台北) 村田 一江
 園庭より「オモチャのマーチ」流れくる香きかの日の空にこだます(八千代台西) 百瀬水枝子
 霊園のロビーに飾れる七夕の短冊大方この世の願い(八千代台南) 桑原 慎子
 水上の高原の森に春蟬の鳴きかまびすし季ゆくと鳴く(勝)田(台) 石垣 玲子
 強風に薙ぎ倒されし朴の木の花かきたる花みな天を向く(大和田新田) 角田 邦夫
 車椅子乗りつき急ぐ投票所わが一票の市政に届け(勝)田(台) 大野 浩子

選評 一首目、絆という言葉の意味深さを知っている作者はやはり言葉のようになって「絆」の言葉を憂いている。離れがたい情愛、断ち切ることのできぬ愛情。寄つたり、離れたりする浮雲のようではならないと心深くうたっている。二首目、小さい蜥蜴が小さい影とともにホースの水をさけて逃げてゆく、小さい影と共にというこまやかな観察、弱いもの、小さなものに優しい目を向けている作者。三首目、土鍋に煮ている夏バテ予防の梅の実。黄梅に降る雨に移りゆく季を思う。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

非課税でも出せない孫の教育費大和田まさ子
 耳遠し都合次第で知らん振り緑が丘吉川 泰裕
 介護保険納めるだけの予定です高津 岡田やほこ
 プールにもなつて我が家の仕舞い風呂萱田 町 藤田異三夢
 イヤホンを忘れ講義も昼寝中八千代台東 向井譲り葉
 紅さされ気合が入る子供衆勝田 台 吉崎瑠璃子
 恋愛は夢見る人の白昼夢八千代台北 小川 剛毅
 ミミズまで脱水症の雨不足大和田新田 山本ひろこ